



やまのて

学び合い ひびき合い きたえ合い

限られた「今」という時間を大切に！

校長 中島 正人

朝夕の冷え込みは変わらずとも、陽射しは確実に春の訪れを感じさせてくれます。

2月もあと3日で終わり、いよいよ一年間の締めくくりの時となりました。同時に、6年生にとっては中学校への旅立ちの時でもあります。

今年度は、全世界で新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。そんな中でも子どもたちが今こうして元気に学校生活を送り、最終月を迎えることができるのは、保護者や地域の皆さまの温かいご支援・ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

過日、北海道の協力要請のもと、小樽市の感染予防措置を受け、2月末に予定しておりました保護者会及び新1年生入学説明会を中止とさせていただきます。学校としても準備をしていただけに大変残念でしたし、楽しみにしておられた保護者や新1年生に対して、改めてお詫び申し上げます。感染拡大防止に向けた全市的な措置であることを踏まえ、ご理解いただければと存じます。

さて、3月の登校日は、1年生～5年生が18日間、6年生は15日間しかありません。本当にあっという間に過ぎてしまいます。

そこで、3月1日の全校朝会では、子どもたちに「進級及び卒業に向け、仲間と共に、限られた『今』という時間を大切にしてほしい」というお話をします。特に、6年生には、小学校生活の締めくくりの大切な期間であることや、お世話になった人たちへ感謝の気持ちを伝える貴重な時間であることを伝えたいと思います。そして、必ず訪れる最後の日を、家族や先生、そして友達との絆を深める最高の一日として大切に過ごしてくれることを願います。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちが、一年間の締めくくりの時を、友達と共に有意義に過ごすことができるよう、励ましのお声がけをお願いいたします。

【今月の言葉】～校長のつぶやき②～

息子が小学校から高校まで野球をやっておりましたので、休日になると、練習試合や大会などで多くの野球チームを見ることができました。特に、高校では、全道各地への遠征があり、夫婦揃って、高校球児のはつらつとしたプレーを楽しませてもらいましたが、その中で印象に残っていることの一つとして、高校球児たちの素晴らしい“挨拶”があります。

どの学校の高校球児も、一度も会ったことのない、小樽から来たおじさんに対し、帽子を取って背筋を伸ばして「気をつけ」をし、相手の目を見て、深々とお辞儀をしながら「こんにちは!」と元気よく挨拶をしてくれます。

その姿がなんとも爽やかで、清々しく、挨拶をされる私たちがとても心地よい気分になるのです。さらに気がつくことは、甲子園経験のある強いチームほど、その挨拶が徹底されていて、そのようなチームは、選手のみならずマネージャーも、はたまた、保護者の方々も相手を選ぶことなく、気持ちの良い挨拶ができるということ。

おそらく、長い年月で培ったチームの伝統なのでしょう。そして、挨拶にも手を抜かないその精神がチームを強くしていったのかもしれませんが。

今年度、山の手小学校の挨拶は、児童会の提案で「相手の目を見て、お辞儀をしながら挨拶をする」ことになりました。ペコッとお辞儀をしながら可愛らしく挨拶をする低学年。すっと立ち止まって軽くお辞儀をしながら凛々しく挨拶をする高学年。挨拶一つに、心を込めるその姿は、朝の寒さを吹き飛ばしてくれるほど心地よく感じます。見守りボランティアのある方が「お辞儀をするもんだから腰に来るんだよなあ。」と話す姿がとても嬉しそうです。

(※横断歩道の途中でゆっくりお辞儀をしながらの挨拶は、危ないのでやめましょう。)

でも、あいさつ運動をしていた当初は、8割程度がしてくれたそんな挨拶も、この頃は2割くらいに減ってしまいました。山の手小学校の挨拶のスタイルが「伝統になるか、ならないか。」今がまさしく境目なのかもしれません。

是非、「山の手の子は、こんな素敵な挨拶ができるのです!」と胸を張って言えるように、伝統となるまで続けてほしいと願います。いくら人工知能(AI)が発達して、ロボテックス等の先端技術が高度化しても、人と人が挨拶をし合うことは、心地のよいものだと思いますので……。



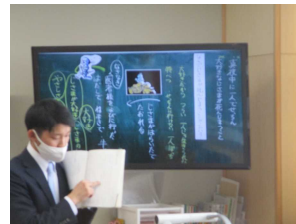
■ 検証授業を実施しました ■

本校の学力向上部が中心となり推進してきた校内研修の成果と課題を確認するため、2月17日（水）には3年3組石田学級で、2月18日（木）には4年1組阿部学級で国語科の検証授業を行いました。

教室内の密を避けるため、廊下や算数ルームにテレビモニターを設置し、教職員全員が分散しながら児童の頑張る様子を参観しました。

授業を終えた後は、「自分の思いや考えを表現する力」を高める視点で、子どもたちのためにどんな授業が考えられるのかを協議しました。参観した先生からは「子どもたちの話を聞く姿勢が素晴らしい」「考えの根拠が明確になっていた」「心情曲線という手立てが話し合いのポイントとして有効だった」などの感想が挙げられました。

3年3組と4年1組の皆さん、考えたことを一生懸命伝えようとする君たちの成長を見ることができ、本当によかったです。



3年生「モチモチの木」授業の様子



4年生「初雪のふる日」授業の様子



■ 令和3年度 学級編成の基準について ■

北海道の学級編成基準の変更により、学年で2学級編成となるのは、1年生～4年生で36人以上、5年生・6年生で41人以上の在籍となりますが、2学級から3学級になる場合に、この人数が適用されないこととなりました。

〔本校の場合〕

下の表のように、1年生・2年生については、国の少人数編成が適用され、在籍人数が各学年71人以上で、3学級編成となります。3年生以上は、在籍人数が各学年81人以上で、3学級編成となります。なお、特別支援学級在籍のお子様は、編成時の人数に含みません。

本校の学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3学級になる児童数	71人		81人			

※ クラス編成の関係上、今後、転出の予定がございましたら、担任にお知らせください。また、山の手小学校に転入予定のお子様の情報がありましたら、ぜひ、学校にお知らせください。

■ 時間割の変更について ■

今年度の新型コロナウイルス感染症対策をふまえた教育活動を振り返り、感染症対策にともなう次年度の計画作成に向け、3月5日（金）と3月9日（火）を午前授業とし、職員会議を行います。

2日間とも給食後、13時10分頃の下校となりますので、下校後の対応についてご配慮をお願いします。

スキー学習が無事終わりました。ご協力いただいたボランティアの方々に、改めて感謝申し上げます。

■ 第3回卒業式について ■

3月19日（金）10時より、小樽市立山の手小学校第3回卒業式を行います。感染症対策を考慮しながら、卒業式を進行してまいりますのでご理解をお願いします。

- ①在校生は、教室のテレビで卒業式の様子を視聴することで、参加します。
 - ②式場の参加者は、卒業生と卒業生の保護者（2名まで）、学校関係者とします。また、ご来賓については、参加の自粛をお願いしております。
 - ③時間短縮のため、PTA会長祝辞と小樽市教育委員会告辞については、文書配布とします。
 - ④在校生の呼びかけについては、卒業式の数日前よりお昼の校内放送でビデオ上映します。
 - ⑤保護者の皆様に参加いただくため、昨年度のように卒業式の様子を記録したDVDを6年生に配布することは、ございません。
- ※小樽市内の感染状況により、内容を変更することもございますのでご了承承ります。



「昨年度の様子から」